日本文化学部 国語国文学科 アドミッション・ポリシー

1．求める学生像

学力の3要素	① 知識・技能	世界の中での日本文化を理解するために必要な、国語・社会に関する幅広い知識と関心をもつ人。
	② 思考力・判断力・表現力等	社会や文化のあり方について、論理的に思考・判断し、それを他者に表現できる人。
	③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	地域・社会に主体的に関わる意欲をもち、それを世界に発信する態度を有する人。

2．入学者選抜の基本方針：「求める学生像」に基づき、各選抜試験を行います

選抜試験種別	一般入試	前期日程	評価する能力	大学入試センター試験で5教科の①知識･技能を評価し、さらに個別試験で外国語、国語の①知識・技能および②思考力・判断力・表現力等を評価し、これらを兼ね備えた人を選抜する。
			評価方法・比重	【大学入試センター試験】5教科5～6科目 【個別学力検査】外国語（英語)、国語 大学入試センター試験と個別試験の比重は1:1とする。
		後期日程	評価する能力	大学入試センター試験で5教科、特に外国語、国語の①知識・技能を重点的に評価し、これを備えた人を選抜する。
			評価方法・比重	【大学入試センター試験】5教科5～6科目 【個別学力検査】課さない
	推薦入試	推薦（県内）	評価する能力	出願資格を国語の評定平均値が5段階評価で4.0以上であるとし国語の①知識･技能を、小論文で国語の①知識・技能および②思考力・判断力・表現力等を評価する。面接では②思考力・判断力・表現力等および③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を評価し、これらすべてを兼ね備えた人を選抜する。
			評価方法・比重	【一次】小論文　【二次】出願書類及び面接 小論文と面接の比重は1:1とする。
	特別入試	社会人	評価する能力	小論文、英語で日本語と外国語の①知識・技能および②思考力・判断力・表現力等を評価する。面接では②思考力･判断力･表現力等および③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を評価し、これらすべてを兼ね備えた人を選抜する。
			評価方法・比重	英語（筆記)、小論文及び面接 英語（筆記)、小論文、面接の比重は1:1:1とする。

	特別入試	帰国生徒	評価する能力	小論文、英語で日本語と外国語の①知識・技能および②思考力・判断力・表現力等を評価する。面接では②思考力･判断力･表現力等および③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を評価し、これらすべてを兼ね備えた人を選抜する。
			評価方法・比重	英語（筆記）、小論文及び面接 英語（筆記）、小論文、面接の比重は 1:1:1 とする。
		外国人留学生	評価する能力	小論文、英語で日本語と外国語の①知識・技能および②思考力・判断力・表現力等を評価する。面接では②思考力･判断力･表現力等および③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を評価し、これらすべてを兼ね備えた人を選抜する。
			評価方法・比重	英語（筆記）、小論文及び面接 英語（筆記）、小論文、面接の比重は 1:1:1 とする。